
第2章 APWメニュー

「APWメニュー」は、STRAPW(APW開始)コマンドを入力することによって表示されます。

本章では、「APWメニュー」の表示方法やその使い方について説明します。

2.1 STRAPW(APW開始)コマンド

STRAPWコマンドの構成は下図に示すとおりです。

STRAPW
ジョブ：1 プログラム：1

このコマンドには、パラメーターは不要です。

コマンド入力には、次の2種類の方法があります。

- コマンド入力行にSTRAPWと入力し、実行キーを押す。
- プログラマーメニューで選択番号5（実行コマンド）を選択した後、STRAPWと入力して実行キーを押す。

なお、STRAPWコマンドの使用にあたっては、このコマンドの機能実行に必要なファイルの分も含めた使用権の所有が前提となります。詳細は、貴社の機密保護担当者にお問い合わせください。

STRAPWコマンドを実行すると、下図のような「APWメニュー」が表示されます。このメニューで項目番号を選択することにより、APWの各機能を実行できます。

APW	多機能換字印刷ユーティリティ (APW)	システム: XXXXXXXX
次のうちから1つを選択してください:		
1. 書式の作成		
2. 書式の合成		
3. APWの書式の処理		
4. 記号の置換		
5. 記号の変換		
選択またはコマンド		
====>		
F3=終了 F4=プロンプト F9=コマンドの複写 F12=取消し F13=ユーザーサポート		
F16=AS/400メインメニュー		
(C) Copyright IBM Corp. 1984, 1994.		

2.2 機能キー

APWメニューおよびコマンド・プロンプトで使用される機能キーについて、以下に説明します。

- APWメニュー

- F1/Help:** 操作援助。F1またはHelpキーを押すと、カーソルが特定のフィールドに位置している場合は、そのフィールドの説明をします。カーソルが位置付けされていない場合は、画面についての全般的な説明を表示します。
- F3:** 終了。現在のタスクを終了して、そのタスクを開始した画面に戻ります。
- F4:** プロンプト。コマンド入力行に打鍵されたコマンドのコマンド・プロンプト画面を呼び出します。
- F9:** コマンドの複写。画面で入力された最後のコマンドをコマンド・入力行に複写します。
- F12:** 取り消し。前の画面に戻ります。
- F13:** ユーザー・サポート。システムのより効果的な使用を援助するメニューを表示します。例えば、操作援助やコマンドの使用法、問題処理等です。
- F16:** AS 400* メイン・メニュー

- コマンド・プロンプト

- F1/Help, F3, F4:** 上記と同じ。
- F5:** 再表示。入力したデータを破棄し、元の値を再表示します。
- F11:** キーワード/選択項目。画面上の情報の表示をキーワード、選択項目と変更します。
- F12:** 取り消し。
- F14:** コマンド・ストリング。これまでに入力された情報をもとにコマンドのストリングを表示します。

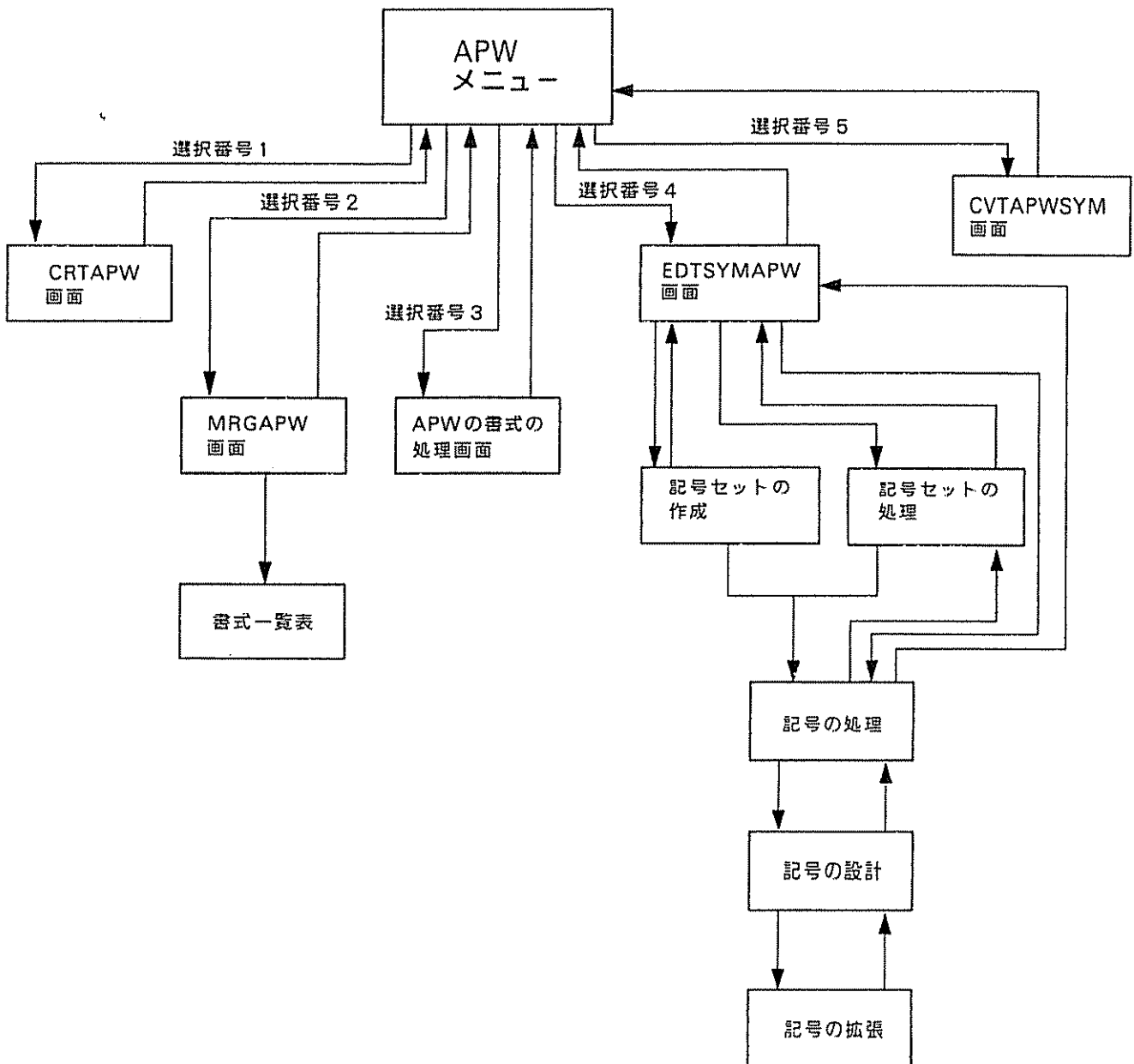
また、他の画面の機能キーの詳細説明はカーソルをこれらの機能キー部分に移動してHelpキーを押した場合に表示されます。

2.3 画面の操作援助

任意のメニューやリストでHelpキーまたはF1を押すと、APWの操作援助を表示することができます。操作援助を含めたオンライン情報の作業に関する説明は、Helpキーを続けて2回押すか、ユーザー・サポートの操作援助の使用法を選択して、見ることができます。

2.4 APW表示画面の流れ

下図は、APWのメニューで項目番号1~4を選択した場合の画面の流れを示したものです。



各機能の詳細については、次章以降を参照してください。